

第8回医療薬学公開シンポジウム

「薬物療法におけるリスク管理と医療薬学」

- 日時 : 平成13年11月10日(土) 午後1時30分～午後5時
場所 : 九州大学同窓会館 福岡市東区馬出3-1-1(九大病院正門から西へ100M)
地下鉄「馬出九大病院前」, またはバス「県庁九大病院前」下車
主催 : 日本医療薬学会(会頭:水柿道直)
後援(予定) : 日本病院薬剤師会, 福岡県病院薬剤師会, 福岡県薬剤師会,
日本薬学会九州支部, 九州山口薬学会
資料代 : 500円(当日)

開会挨拶 大石了三(実行委員長, 九州大学医学部附属病院)

座長 樋口 駿(九州大学大学院薬学研究院)

福澤敬文(済生会福岡総合病院)

1. 医療におけるリスクマネジメントー薬剤師に期待するもの
尾首睦美(九州大学医学部附属病院看護部長)
2. プレアボイド報告から見えてくるもの
神村英利(井上会篠栗病院)
3. 米国ミネソタ大学医療センターでのファーマシューティカルケア
ー厚生科学研究費補助金「医薬安全総合研究事業」外国への派遣事業ー
牧野和隆(九州大学医学部附属病院)
4. 薬物療法におけるリスク管理ー調剤薬局の立場から
森千江子(双和薬局)
5. バリウム造影検査によるアナフィラキシーショック
室井延之(赤穂市民病院)
6. 抗がん剤の副作用軽減への時間薬理学の応用
大戸茂弘(九州大学大学院薬学研究院)

総合討論

今回の医療薬学公開シンポジウムでは「薬物療法におけるリスク管理と医療薬学」を主題として、医療機関におけるリスク管理、その中で薬剤師が何を行って行く必要があるか、また、他の医療従事者や患者・国民にどのようにその活動を示して行くべきか、さらに、薬剤師活動の基盤となる学問としての医療薬学がどう貢献するか、などの話題を中心に考えていきたいと思っております。病院薬剤師の先生方のみならず、薬局あるいは各薬科大学の先生方、その他数多くのご参加をいただきたいと思います。また、この機会に日本医療薬学会にご加入いただきたくお願い申し上げます。

連絡先: 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1九州大学医学部附属病院薬剤部内

日本医療薬学会第8回医療薬学公開シンポジウム事務局

TEL 092-642-5921 FAX 092-642-5937 (担当者:吉川, 小坪)

(財)日本薬剤師研修センターの集合研修単位(2単位)が認定されます(申請中)